

(仮称) 芝浦第二小学校の学校名及び通学区域について

1 経緯

令和4年4月に港区芝浦一丁目16番31号に開設する(仮称)芝浦第二小学校の学校名及び通学区域については、保護者や地域関係者の理解を得たものとするよう、保護者や地域住民の代表者、教育委員会事務局職員等で構成する(仮称)芝浦第二小学校検討委員会(以下「検討委員会」といいます。)を設置するとともに、検討委員会の中に学校名等分科会及び通学区域等分科会を設け、様々なご意見をいただきながら検討してきました。

【令和元年度検討委員会の開催状況】

- ・ 検討委員会(全体会): 2回開催
- ・ 学校名等分科会: 5回開催
- ・ 通学区域等分科会: 7回開催

2 (仮称) 芝浦第二小学校の学校名

保護者や地域住民、芝浦小学校児童等を対象に実施したアンケート結果を踏まえ、検討委員会では、4つの学校名の候補「港区立芝浦第二小学校」、「港区立芝浜小学校」、「港区立田町小学校」及び「港区立みなと小学校」を選定しました。

検討委員会で選定した4つの候補について、教育委員会事務局職員等で構成する(仮称)芝浦第二小学校開設準備委員会で比較検討した上で、以下の理由から(仮称)芝浦第二小学校の学校名を「港区立芝浜小学校」としました(比較検討資料は別紙のとおり)。

【選定理由】

- (1) 新設校の周辺西側地域は、臨海部の埋め立てにより現在の芝浦地域ができる以前、芝の海に面した砂浜だった地域で、「芝浜」と呼ばれていました。当該地域は有名な古典落語「芝浜」の舞台となった場所でもあり、「芝浜小学校」は地域に由来した名称です。また、新設校は、芝浦と海岸を通学区域とする芝浦小学校の児童数増加に対応するため、芝浦小学校の通学区域を分けて設置される学校であり、芝浦小学校から途中で移る児童もいますが、名称が「芝浦」と「芝浜」で関連することで、設置経緯等も含めた2校のつながりを今後も感じることが出来ます。

- (2) 児童に学校の名称の由来を伝え、または主体的に調べさせる等の取組により、地域を知るとともに、学校に愛着を持ってもらうきっかけとなります。また、落語にも関連した名称であることなどを生かし、伝統と文化を重んじた特色ある教育活動を行うことができます。
- (3) 検討委員会で選定した候補のうち、アンケート結果やこれまでの検討において、上記のような具体的な選択理由が最も多く挙げるとともに、否定的な意見が少ない名称であり、誰からも長く親しまれる学校名となることが期待できます。

3 (仮称) 芝浦第二小学校の通学区域

通学距離や各学校の規模を考慮するとともに、検討委員会でいただいた意見を踏まえ、(仮称) 芝浦第二小学校の通学区域を以下のとおりとしました。なお、(仮称) 芝浦第二小学校の通学区域設定に伴い、芝浦小学校の通学区域を見直します。

< (仮称) 芝浦第二小学校の通学区域 >

芝浦一丁目（六番から十六番まで）、芝浦二丁目、芝浦三丁目、芝浦四丁目（二十番から二十二番まで）、海岸三丁目（一番から三番まで、十四番から十九番まで及び二十二番から三十番まで）

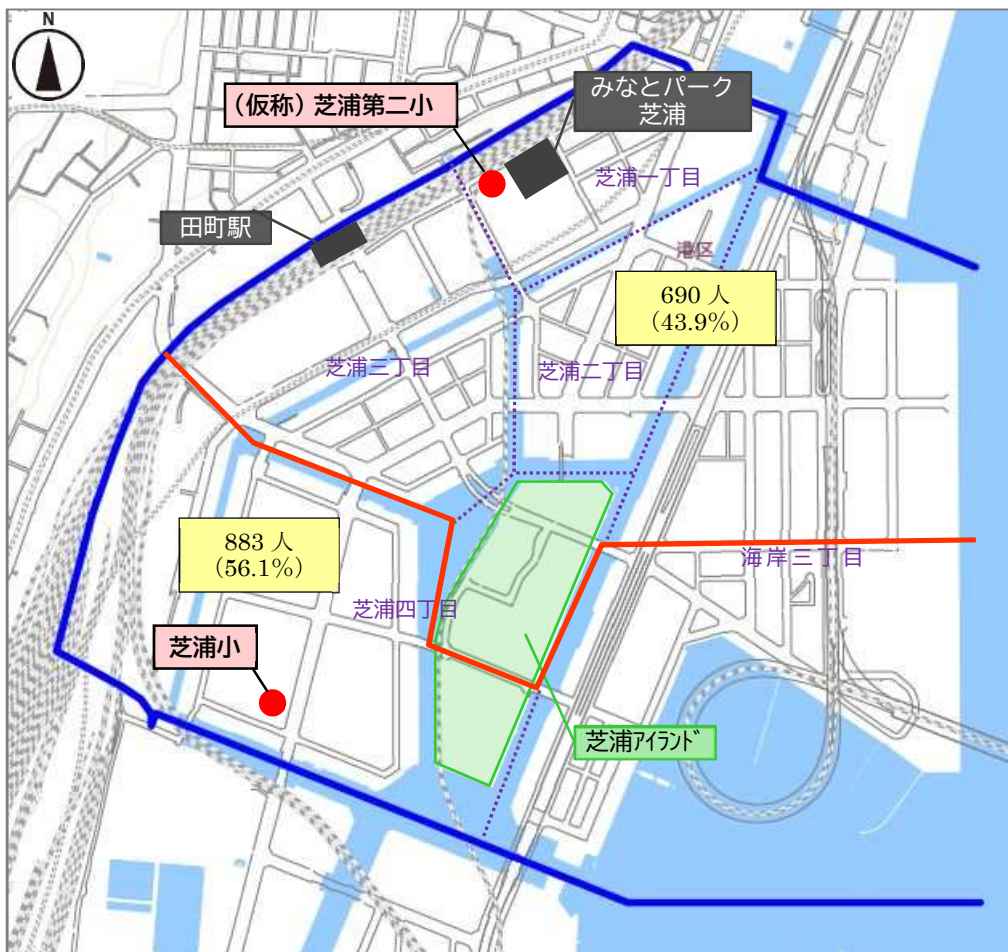
< 芝浦小学校の通学区域 >

芝浦四丁目（一番から十九番まで）、海岸三丁目（四番から十三番まで、二十番から二十一番まで及び三十一番から三十三番まで）

【通学区域設定の主な要点】

- (1) 通学距離と各学校の規模（芝浦小学校（仮設なし）33 教室、(仮称) 芝浦第二小学校（多目的室除く）24 教室）を考慮し、広い道路や運河等、分かりやすい箇所を分けた。
- (2) 特に人口の集中する芝浦アイランドの地域については、人口規模や各住宅の立地を考慮し、児童数の多い4 棟の高層住宅のうち、北側の3 棟を(仮称) 芝浦第二小学校の通学区域とし、南側の1 棟を芝浦小学校の通学区域とした。

- 【通学区域図】
- (Blue line) : 現在の芝浦小学校の通学区域
 - (Red line) : (仮称) 芝浦第二小学校開設後の芝浦小学校と(仮称) 芝浦第二小学校の通学区域の区分線



※基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

※各学校の人数は、開校年度（令和4年4月）における区域内の想定児童数です。

4 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|-----------|---|
| 令和2年6月～7月 | 令和2年港区議会第2回定例会（議案提出）
（港区立学校設置条例の一部を改正する条例） |
| 7月 | 教育委員会（審議）
（港区立学校の通学区域に関する規則の一部改正） |
| 令和4年4月 | 新校開設 |

(仮称) 芝浦第二小学校 学校名検討比較表

※各意見等の文末に、検討委員会で出されたものには【検】、アンケートで出されたものには【ア】と表示しています。

	芝浦第二小学校	芝浜小学校	田町小学校	みなと小学校
保護者・地域等アンケート	104件(第2位)	62件(第3位)	146件(第1位)	30件(第5位) ※「湊小学校」
児童アンケート	711件(第1位)	192件(第8位)	372件(第2位)	352件(第3位) ※「湊小学校」
地域性	<ul style="list-style-type: none"> 芝浦にある学校であることが明白である。【ア】 芝浦小学校との関係性が分かりやすい。【検、ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺地域は芝の海に面した砂浜で、芝浜と呼ばれていた。【検】 近隣は、有名な古典落語「芝浜」の舞台になった地域である。【検、ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 田町駅の近隣に建つ学校であり、場所をイメージしやすい。【検、ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 港区の中でも海に面した地域にある学校であることや、隣接するみなとパーク芝浦との一体感をイメージできる。【検、ア】 名称から地域の特定はできない。【検】
発展性	<ul style="list-style-type: none"> 名称から新設校ができた経緯が継承され、今後も芝浦小学校と交流、連携を行いやすい。【ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 学校名の由来を通じて、児童が地域を知るきっかけとなる。【検】 学校名が落語に関連すること等を生かした、特色ある教育活動が期待できる。【検、ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 田町駅周辺は今後も再開発が進み、ますます知名度が上がることを期待できる。【検、ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 「みなと」を「みんなと」とかけ合わせるなど、学校名を学校のコンセプトにつなげやすい。【検】
否定的意見	<ul style="list-style-type: none"> 2番手という印象を与えるので「第二」という名称はふさわしくない。【ア】 番号を用いた学校名がないのが港区の特徴である。【検】 省略されやすい学校名は避けた方がよい。【検】 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接地域に同じ「芝」の付く芝小学校や芝浦小学校があるので、紛らわしいのではないかと。【ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 旧町名にあった田町は現在の芝や三田に位置し、新校の所在地とは異なる。【検】 田町は、三田側の地名というイメージがある。【検】 	<ul style="list-style-type: none"> 「湊小学校」や「港小学校」を含め、「みなと」の付く学校が他自治体にも多くある。【検】 「みなと」は最近の子どもの名前に多く使われており、嫌な思いをする子どももいるのではないかと。【ア】
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 芝浦小学校との関係性が分かりやすく、アンケートの得票数が多い一方、一部で否定的な意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童にはなじみが薄いものの、学校名の由来を知ることから、特色ある教育活動につなげることが期待できる。 具体的な選択理由が多いことに加え、否定的な意見が最も少なく、誰からも親しまれる学校名となることを期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域は田町として認知度が高く、シンプルで分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 響きが良くやわらかな印象の名称であるものの、地域性がやや薄く、学校の所在をイメージしにくい。
	評価：○	評価：◎	評価：○	評価：△